

良人教育十四種

岡本かの子

青空文庫

(1) 氣むずかしい夫

何が氣に入らないのか、黙りこくつてむつりしている。訊いてもいつては呉れないで、渋い顔をするばかり。従つて家内中で腫ものにでも触るような態度を取り、そばを歩くに足音さえも窃むようになる。こういう性質は神経衰弱その他生理的な病氣が伏在している為めに來ることもあれば、当人の我儘から來ることもある。病氣なれば氣の毒、早速医者の手にかかるがいいが、もし我儘だったらあんまり卑屈にへいへいしていると、却つて増長させていけない。正しいことは相当主張し、快闊に、はたからその不機嫌を吹き散らしてしまうがいい。不機嫌は当人も持てあましているのだから、はたからのひよつとした誘いで氣が取直せ、当人も助かることがある。

(2) 短氣な夫

しじゅうイライラしてちよつとのことにカンシヤクを起す。この性質に二つある。外では猫のようになしく言うべきことも胸に畳み、そのシコリを家へ持越して爆發させるものと、もう一つはどこでも短氣でカンシヤクを起すのとである。前の方のは臆病で

気の毒な性質の人ゆえ、まあまあ我慢して家でカンシヤクを起さしてやるのが愛だが、後のは持前の性質ゆえ修養とか信仰とかを勧めて、根本的に直すのが愛である。一た短い短気な人は速力が氣に入るのだから何でも手つ取り早く先手を打って、先に望むことをしてやれば悦ぶものだ。

(3) 病身な夫

痼疾のあるのは別だが、そうでなくて年中あつちが悪い、こつちが悪いとぐずぐずしている人がある。多くは神経質で思い過ぎの人に多い。一しよになって心配してやらねば不親切だといってヒガむし、そうかといって心配すればキリが無いし、仕末に悪い。心機一転ということもあるから、朗かに奮闘的な氣持ちになれるよう、思い切つて生活を革新するとか、強い刺撃を与えて心境を変化させるとか、妻自身確信と元氣を持つて助勢するがいい。

(4) 潔癖な夫

硝子窓がちよつと曇つていても氣にし、障子のサンにホコリが溜つてやしないかと、

指の腹で擦こすつてみる。ひどいになると一日に五六度オキシフルか、昇汞水しょうこうすいで手を消毒しないと、落付おちついて仕事が出来できぬというようなのである。悪いことではないが兎とに角かくうるさい。また精神上の潔癖家として無暗むやみに人を毛嫌けきらいするものもある。あいつはオベツカ者だからとかあいつはウソ吐つきだとかいって、口も利きかぬ。そんなことをいった日には世間が狭せまくなるばかりだから一つ氣を大きく持たせるべし。

(5) 頭のよすぎる夫

どうせ見透みすかされ尽つくすのですから、なまじい夫に対する心のつくりかぎりをせず、正直に無邪氣むじやきにともに暮くらすべし。

(6) 交際下手な夫

交際下手な夫を持った妻は、相手の人が夫の氣象きしょうを呑み込むまで、妻自身がまめまめしく客にかしずき、その場の調和をたもつこと。

(7) 学者肌の夫

学者は日常他人に教示する癖をもって暮す。その気持ちのリズムに添うて、暮さなければ夫の心情を荒らす。妻も大方のことは生徒になりたる態度をもって、夫に对待すべし。

(8) 親や親類と折合いの悪い夫

いつそ親や親類に悪く云われても仕方がない。まあなるだけ主人の気のやすまるよう遠のいて、身辺の平和を守るか（この際扶養の責任あらば、それだけは物質だけでも果すべし）、さもなくば、妻は身をもつて円満に尽し、親、親類に夫の折合い悪しき部分を補うべし。

(9) 失業している夫

妻の身の自分が内職でもして家計を立てようとする努力とともに、失業状態にある夫の心は、とかくひがみ易くなっていますから、妻は平常より寧ろ夫を敬愛する態度に出よ。夫は心明るく次の職業を探す勇氣に向えましょう。

(10) 大酒家たいしゅかの夫

何かほかの嗜好物しこうぶつに転換させるか、もし万不可能ばんな時は、妻自身大酒をのむか、但しただはのみたる振りふで酔よっぱらって困らせて見せるか、知人の大酔家を、夫のしらふの時に夫の眼の前へ連れて来て見せしめにするかです。

(11) 移り氣うつきの夫

正当に警戒けいかいし、懇願こんがんして見ても駄目だめでしたら、妻自身も移り氣の振りをして見せしめてやりなさい。それでもだめならあきらめるか、別れるか、どちらでも。

(12) 家にばかりいる夫

家にばかり夫がいて困るのでしたら、散歩や活動に妻が誘ごうって御覧ごらんなさい。嫌だと云った妻一人、夫を家へうつちやつて出て寂しがらせて御覧なさい。手のない家でしたら、盛んにお使いでもおたのみなさい。

(13) 家事に口出しすぎる夫

家事に口を出し過ぎる夫に困ったら、一週間位くらいそら病氣をして、夫に家事万端ばんたんの世話をやかせ、負担に堪たえない経験をさせたらどうですか。お客の前などで、だしぬけにあれを出せ、時ならぬ時分じぶんにこれはないかと、喰たべものなど主婦の予算以外の注文をする夫をこらしめるためには、あとでその時の費用を誇張こちやうし、また労力の超過ちやうかをしめすため、そら病氣でもして見せます。

(14) 職業婦人の夫

職業婦人の夫はそれこそ妻に思いやり深くなくてはいけません。そして自身も職業を持つならば、退ひけ時刻の早い方が遅く帰る方を待ちうける用意をして置きなさい。朝、出かけの早い方を遅い方が送って上げるのも同様です。この際昔風な夫、妻、の觀念を除き、同じ労力を分わかつて家事を分担する友、恋人同志であり同時に普通の夫婦以上、妻は夫に与える所の多い女性として尊敬して、夫たる男性の手に適するかぎり家事の労力なども妻の助けとなるべきです。但し呉々ただくれぐれも妻は己の職業に慢心まんしんして大切にして貰もらう夫に狎なれ、かりにも威張いばつたり増長ぞうちやうせぬこと。月並の戒いましめのようなれど、余程よほどの心がけなくてはいいわゆる女性の浅あさはかより、この弊へいに陥おちいり易やすかるべし。

青空文庫情報

底本：「愛よ、愛」パサージュ叢書、メタローグ

1999（平成11）年5月8日第1刷発行

底本の親本：「岡本かの子全集 第十四卷」冬樹社

1977（昭和52）年5月15日初版第1刷発行

初出：「婦人界」

1933（昭和8）年9月号

※表題は底本では、「良人《おつと》教育十四種」となっています。

※「仕末《しまつ》」の表記について、底本は、原文を尊重したとしています。

入力：門田裕志

校正：土屋隆

2004年3月30日作成

2013年10月5日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

良人教育十四種

岡本かの子

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>